

児童手当現況届について

問 子ども課 子ども支援係 ☎62-9237

児童手当を受給されている方には、毎年1回「現況届」を提出していただくことになっています。

これは、引き続き児童手当を受給する資格があるかどうかを6月1日現在の養育状況により認定するためのものです。また所得制限があり、前年分所得の確認も必要です。6月中旬までに現況届を郵送しますので、添付書類を確認のうえ、期限までに必ず提出をお願いします。

期限までに提出がない場合は、受給資格があっても手当の支払いが受けられなくなりますのでご注意ください。

1. 現況届の手続きの流れ

- ①届いた現況届を確認してください。
(間違いや変更がある場合は朱書きで訂正)
- ②名前の横に押印・提出日を記入してください。



2. 現況届の審査

提出された現況届を町で審査し、受給認定、継続支給認定された方には、10月に振込みを行います。

※所得制限超過となる方には、「特例給付」として通知を送付します。

※所得状況の変化により、受給者となるべき方の変更手続きが必要な場合は、役場よりご連絡します。

3. 提出期限 6月30日(火)まで

4. 提出方法 新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため、提出は原則郵送とします。
※現況届と一緒に返信用封筒を同封します。

その他、ご不明な点等がありましたら、お問い合わせください。

富士見町
教育委員会だより
第174号
「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

令和2年6月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

6月
定例教育委員会
6月10日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

6月21日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日

「いつもと違う」生活が続いていますが、子どもの頑張りを認め、心のケアにも意識しましょう。



心のいろはどんないろ?

“本郷保育園の子ども達”

4月になって、登園者が少なくなっても元気に過ごしている子ども達。

- ★ (名札を見せて)
ねえ、黄さん (年中さん) になったんだよ。
- ★砂遊びをしている2歳児
(ボールに砂を入れて)
子「ポップーン」
保「ポップコーン?」
(満面の笑みで)
子「うん」



「砂場あそび おもしろい」



4月3日、社会福祉法人つみね福祉会が運営する「児童家庭支援センターつつし」が茅野駅前の商業施設ベルビア内に開所しました。岡谷市の児童養護施設つつしが丘学園と連携した支援体制をとっています。
※児童家庭支援センターは、地域の子どもやご家庭の相談を受けたり、地域の専門機関と協力して、子ども達を取り巻く様々な課題を一緒に考える場所です。

- 【何ができるの】**
- ★子育てに関する相談ができます。
 - ★子どもや家族の心のケアをおこなっています。
 - ★里親家庭や里親希望の方をサポートしています。

- 【相談時間】** 月～土曜日 午前10時～午後5時
(木・日・祝祭日は休み)
※緊急を要する相談は、〔休日・夜間〕も対応

- 【場 所】** ベルビア3階(茅野駅前)
住所:茅野市ちの3502-1

- 【連絡先】** 児童家庭支援センターつつし
TEL:0266-75-1108
Eメール:chino_jikasen@tsutsuji.or.jp

児童福祉に関する知識を持ち、地域の市町村・保育園・学校と連携する「相談員」、里親に関することは「里親支援専門相談員」、子ども・家族・支援者の心のケアは「心理士」といったスタッフが多方面から皆さんをサポートします。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。
(諏訪地域6市町村が対象です)

明日を楽しみにすること

町では家庭・教育・子育てに関する相談を行っています。

家庭教育相談員 矢島 俊樹



新型コロナウイルスによる休校がひと月を超えました。報道では子どものストレス親のストレスが話題になっています。中にはこういうときだからこそ、普段親子で出来ないことにトライするという前向きな家庭もあるかと思いますが、楽しみのない子ども、思うようにならない子どもへの苛立ちをぬぐえない親、働く親に代わって子どもの面倒を見なくてはならない祖父母の世代、皆が皆ストレスを抱えて生きていることには間違いがなさそうです。富士見OKKOHも諏訪湖花火もなくなり、いったいつになったら平常に戻るのか、出口が見えないとストレスは倍増します。

登校日、中学校ではあちこちで子どもの笑顔があふれていました。友達と話ができることが何より嬉しいと言う生徒がほとんどでした。登校日が増えることを喜ぶ子どもの多くは明日を楽しみにしています。人とコミュニケーションをとることは誰にとっても欠かせないことです。誰にコミュニケーションを求めるときの違いがあるだけです。そう考えると、この新型コロナ禍で私たちが学ぶべきはいかに「孤立しないか」ということだと思えてなりません。体の密接は避けても、心の密接は大事にしていきましょう。相談する相手がいなるときにはお気軽にご相談ください。解決する自信はありませんが一生懸命話を聞きたいと思います。みんなで明日を楽しみにする富士見町をつくっていきましょう。

